

先の 10 月 19 日(日)に行われた平成 20 年秋の情報処理技術者試験について、先月発表された基本情報 / 初級シスアド試験を除く、7 試験の合格発表がありました。同時に発表されたスコア分布などの統計データをもとに、システムアナリスト試験の合格発表コメントをお知らせします。

システムアナリスト試験(AN)

[平成 20 年秋期のシステムアナリスト試験 統計情報]

応募者	4,466 人
受験者	2,889 人
合格者	363 人
合格率	12.6%

今回の平成 20 年秋試験では、昨年同時期の平成 19 年秋の試験に比べ応募者が若干減少しましたが、合格率は前回最高の 13.2%でした。今回の試験の傾向や特徴をまとめると、次のようになります。

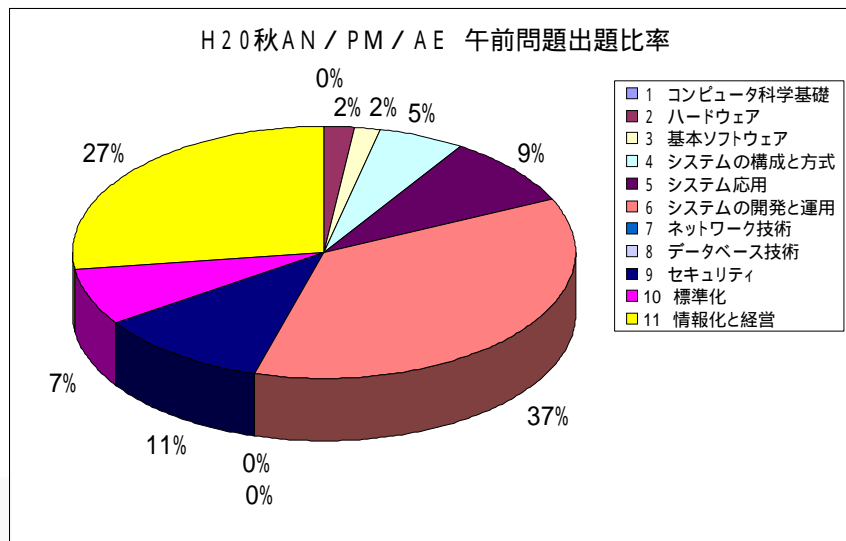
[午前問題] AN/PM/AE 共通問題

・過去問題の比率は約 7 割でした。従来に比べてソフトウェア開発技術者の過去問題がたくさんありました。他の試験との重複出題も多く、上級シスアド試験とは 55 問中 36 問が同じ問題でした。難しい用語に関する出題もありましたが、全体には従来どおりのレベルで解きやすかったといえます。

・新傾向または新しい用語に関する問題は次のとおりです。

- 問 3 実行中のアプリケーション数が最も多いサーバ
- 問 7 ロードバランサの基本機能
- 問 10 リポジトリのチェックイン、チェックアウト
- 問 25 SLA の項目として ITIL が推奨するもの
- 問 29 Web コンテンツの情報アクセシビリティへの配慮
- 問 35 変更管理の管理策
- 問 38 共通フレーム 2007 (SLCP-JCF 2007) の目的
- 問 39 JIS Q 27002 : 2006 の説明
- 問 46 ソフトウェア制作費の無形固定資産への計上
- 問 47 税効果会計
- 問 55 電子申請の特徴

平成 20 年秋期のシステムアナリスト試験 午前問題出題比率



〔午後問題〕

・午後 問題の出題分野とテーマは次のとおりで、今回の問題事例はオーソドックスな内容だったといえます。問4が組込みシステム事例で新傾向問題でした。来春からの新試験の出題内容を伺わせるものといえます。

- 問1 業務のアウトソーシングとASPサービスの導入
- 問2 住宅用の機器販売会社における販売管理システム再構築
- 問3 物流業務請負に伴うシステム化以前
- 問4 組込みソフトウェアのアーキテクチャと開発体制の見直し

・午後 問題の出題分野とテーマは次のとおりです。問2の「チェンジマネジメント」がやや難しい問題だったといえます。他の問題は従来も出題されているオーソドックスなテーマです。

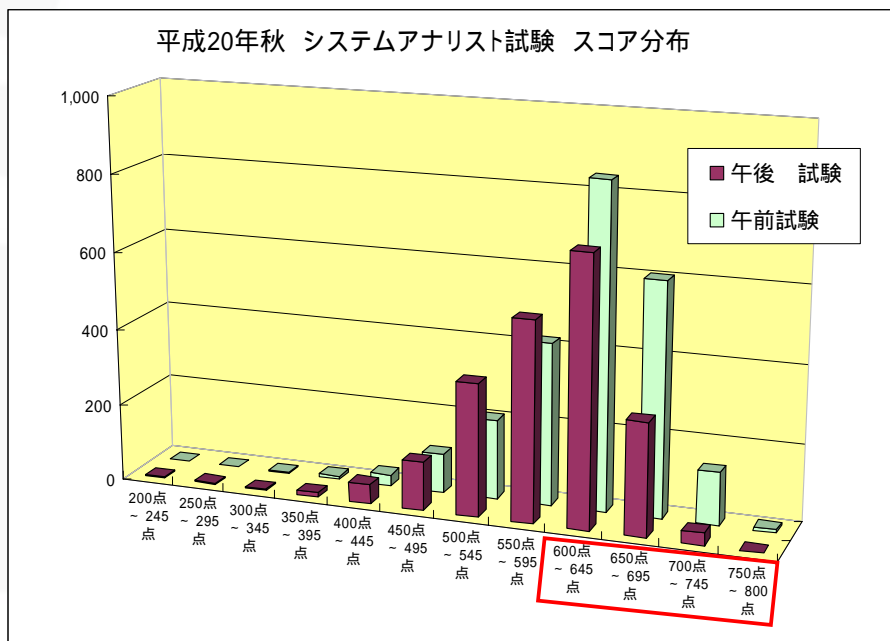
- 問1 情報技術を活用した労働生産性向上のための新たな業務モデルの定義
- 問2 情報システム導入の際の業務革新を支援するチェンジマネジメント
- 問3 システム化全体計画の策定

発表されたシステムアナリスト試験のスコア分布をグラフと合わせて示すと、次のようになります。

[平成 20 年秋 システムアナリスト試験 スコア分布]

スコア	午前試験	午後 試験	午後 試験	合格者
200点 ~ 245点	0	4	評価 D 82	
250点 ~ 295点	2	3		
300点 ~ 345点	2	3		
350点 ~ 395点	9	12	評価 C 98	
400点 ~ 445点	29	51		
450点 ~ 495点	100	126		
500点 ~ 545点	207	343	評価 B 468	
550点 ~ 595点	421	517		
600点 ~ 645点	840	694		
650点 ~ 695点	604	292	評価 A 363	363
700点 ~ 745点	137	32		
750点 ~ 800点	8	0		
計	2,359	2,077		
対前試験比率		88.0%	48.7%	35.9%
午前免除者(概数)	488			

合格者数	363	採点者数の割合	合格者数との差
午前 600 以上合計	1,589	67.4%	1,226
午後 600 以上合計	1,018	49.0%	655
午後 -A 評価	363	35.9%	0



ここで、午前試験で合格基準点のスコア 600 以上の人 が 1,589 人(受験者の 67.4%)いて、他の試験が概ね 50%程度ですので非常に高い割合になっています。午後 で合格基準点のスコア 600 以上を超えている人が 1,018 人(同 49.0%)、午後 で合格の評価 A の人(合格者)は 363 人(同 35.9%)でした。午後 の論文試験で評価 A になる人は毎回 3 割ぐらいで低い結果になっています。やはり、午後 の論文対策はしっかり準備して、試験に臨む必要があります。

午後の試験で合格スコアに至らなかった方は、今後の対策として、午前試験で出題される専門知識の理解度をまず上げ、解答テクニックをしっかり身につけてください。論文は通信教育で実施している添削サービスが効果的です。

(今回合格された方へ)

合格された方で来春のデータベーススペシャリスト、プロジェクトマネージャ、システム監査技術者などの試験を受けられる方は、試験の出題範囲が大きく変わりますので、早めに学習することが必要です。高度系試験は、すべての午前試験が同じで、試験範囲に追加された分野として、情報に関する「基礎理論」や技術系の「データベース、ネットワーク」などがあります。これらの内容については、早めに学習して出題ポイントをおさえる必要があります。

また、午後が論文試験であるシステム監査技術者を受験される予定の方は、合格するために第三者の論文添削が欠かせません。弊社の通信教育では必要なテキスト、模擬試験に加え、論文添削も行っていますので、ぜひご利用ください。

アイテックでは新試験制度に合わせて、通信教育で使用する基本的なテキスト、予想問題集、本試験問題集、午後試験対策本などを新たに改訂しました。これらの書籍は書店でもご購入いただけます。また、試験対策を受験対策のプロ講師がセミナーで行う「合格ゼミ」は好評を頂いており特に、お一人で試験勉強がなかなか進まない方に、ぜひお勧めしたい講座です。

通信教育コースでは、午前試験対策テキスト、テスト(論文あり試験では添削含む)をすべて含んだ標準学習期間6か月の「総合コース」と、問題演習を中心に行うための最新問題集と模擬テスト(2回)を含んだ標準学習時間3か月の「短期コース」など、教育メニューをたくさん用意しておりますので、ぜひご利用ください。

(今回残念ながら不合格だった人)

今回の午前試験のスコアが500点~595点の人は、合格スコアの600までほんとうに“あと一歩”のところまで実力が来ていますので、身に付けた知識が薄れないうちに、早めに次回試験の対策を始めましょう。

なお、次回から新試験制度になり、試験の出題範囲が大きく変わりますので、早めに学習することが必要です。高度系試験は、すべての午前試験が同じで、試験範囲に追加された分野として、情報に関する「基礎理論」や「サービスマネジメント」、「システム監査」、「システム戦略・経営戦略」などがあります。これらの内容については、早めに学習して出題ポイントをおさえる必要があります。

また、午後試験のスコアが600点に満たなかった人は、確実な解答を出すために、落ち着いて問題を解き、解答が正しいかを検証する力を付けましょう。時間を決めた問題演習やアイテックの模擬試験を会場で受けるなど、試験会場の環境を考えたらうえで問題を解く訓練を行うのが有効です。

この他、アイテックで出版している「応用情報・高度に出る午前共通知識問題」や予想問題集、試験対策を受験対策のプロ講師がセミナーで行う「合格ゼミ」、通信教育コースでは、午前試験対策テキスト、テスト(論文あり試験では添削含む)をすべて含んだ標準学習期間6か月の「総合コース」と、問題演習を中心に行うための最新問題集と模擬テスト(2回)を含んだ標準学習時間3か月の「短期コース」、専門分野と午後・論文対策に絞り込んだ「専門+午後コース」など、教育メニューをたくさん用意しておりますので、ぜひご利用ください。

各コースの内容は弊社のホームページからご覧いただけます。

<http://www.itec.co.jp/>

(以上)